

嬉野医療センターを受診された患者さまへ

研究情報公開について

通常、臨床研究を実施する際には、文章もしくは口頭で説明・同意を行い実施します。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いた研究については、国が定めた指針に基づき「対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得る必要はありません」が、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要です。

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用、または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究課題名	小児喘息重症度分布と治療の経年推移に関する多施設調査 (日本小児アレルギー学会疫学委員会が主導の多施設共同調査研究)
研究責任者(所属名)	研究代表者：埼玉医科大学病院 小児科 板澤 寿子 NHO 嬉野医療センターでの研究責任者：臨床研究部長(小児科) 在津正文
本研究の目的	小児気管支喘息患者さんの実態の変遷を知ることに加え、2022年度のコロナウイルス感染症 2019 (COVID-19) による小児気管支喘息への影響を評価します。
調査データの該当期間	2022年10月24日(月)から10月30日(日)の1週間、もしくは、診療の状況変化等の事情があれば10月24日(月)から11月20日(日)の間の1週間における外来受診もしくは入院した気管支喘息患児のデータ記載を研究に使用します。
研究の方法 (使用する試料等)	日本小児アレルギー学会疫学委員会における「小児喘息重症度分布と治療の経年推移に関する多施設調査(日本小児アレルギー学会疫学委員会が主導の多施設共同調査研究)」の研究代表者(埼玉医科大学小児科 板澤寿子)の所属施設を中央施設として他施設で実施されます。調査表にそって、診療録より必要な項目を抽出し、調査表に直接記入もしくはエクセルファイルにデータ入力します。各医療機関において調査に個人を識別する情報を取り除き、新たに符合または番号を付して匿名化し、対応表を作成した後に小児アレルギー学会事務局に送付、全症例を集積した後、埼玉医科大学小児科に送付され、解析されます。 研究に利用する試料、情報等 試料：なし 情報：電子カルテ情報：年齢、外来・入院別、性別、症状のみによる重症度(見かけ上の重症度)、治療ステップ、喘息に対する長期管理薬の種類、喘息治療内容、過去12か月間における急性発作のステロイド投与の有無、重症急性呼

	吸器症候群コロナウイルス 2 型 (SARS-CoV-2) の感染の有無と重症度など
個人情報の取り扱い	利用する情報から、氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除した状態で取り扱われます。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：0954-43-1120 (代表) 担当者：管理課長
備考	